

第18回やまなし県民文化祭部門別フェスティバル  
劇団やまなみ216回定期公演

# 桃子のショパン

～さなぎの苦悩と明日への旋律～



2018年7月22日（日）

午後2時開演（開場30分前）

会場：笛吹市スコレーセンター 山梨県笛吹市石和町広瀬626-1  
チケット（全席自由）

一般 1,500円 高校生以下 1,000円

お問い合わせ：劇団やまなみ 090-1255-5528  
スコレーセンター 055-263-7959

主催：(公財)ふえふき文化・スポーツ振興財団

# 桃子のショパン

～さなぎの苦悩と明日への旋律～

作・演出 河野通方

この物語は・・・

15歳の桃子は明るく素直で聡明、感受性が豊かでピアノの演奏と子犬が大好きな中学生です。

学校で学ぶことは本来楽しく充実感があるのは当たり前なのですが、桃子はある出来事がきっかけで学校の教育環境に不安を覚え不登校・登校拒否になりました。

さなぎとは、不登校の子どもを持つ親の会の舞台上の名称です。



桃子の辛い苦しい2年間の引きこもりは、担任の先生の理解、友達との関わり、ピアノの発表会で自分の納得できる演奏ができたこと。それに両親の暖かい支えで、自分の進むべき道、自分の生き方を自分自身で決めていく少女のルポルタージュです。

平素から当劇団への暖かいご支援に心から感謝しております。本当でありがとうございます。  
さて、今回の公演は不登校・登校拒否の問題を取り上げました。一九七〇年以降、受験中心の競争教育と子供の自主性を抑える一方的な学校運営が学びづらさを加速しているといわれています。学校に行きたくても行けない子どもが増えてきていませんか。これは『現在の学びにくい教育環境の中で子供の純真な心が拒否反応を起こし、このままでは自分の心が破壊されてしまうという自己防衛機能が働いているのではないかと』言われています。  
今回の舞台「桃子のショパン」は通算で二一六回の公演となります。一九五五年創立から今日まで多くの皆様に支えられて劇団活動が続けてこれ来ました。  
今後ともよろしくお願いいたします。  
(演出)

## スタッフ

## キャスト

制作・・・河野 通方  
萩原志穂里  
演出補佐・・・久保 勝  
舞台美術・・・大竹 誠  
照明・・・萩原志穂里  
音響効果・・・川口 雅生  
小道具・・・雨宮 豊  
衣装・・・小林 トコ  
舞台監督・・・川口 雅生  
  
ピアノ指導・・・松田正子  
デザイン・・・こだま文月

津田桃子・・・佐野 七海  
母 則子・・・坂本 英子  
父 辰三・・・村松 玲一  
新垣一枝・・・青木真里子  
橋爪小春・・・田村真知子  
大和マサル・・・上嶋 和輝  
大和 萌・・・末木茉奈加  
昭島拓也・・・内藤 晶彦  
武光 福・・・丸茂富喜子  
田丸会長・・・雨宮 豊  
梨本輝代・・・加藤 由美  
西浦教頭・・・芝野 拓也

協力/山梨不登校の子どもを持つ親たちの会 (ぶどうの会)

## チケット/お問い合わせ

予約フォーム(またはQRコード読取) もしくは、下記連絡先にてお求めいただけます。



予約フォーム：<https://www.quartet-online.net/ticket/yamanami216>  
メール：[gekidan.yamanami.60@gmail.com](mailto:gekidan.yamanami.60@gmail.com)  
電話：090-1255-5528 (河野) / 055-263-7959 (スコレーセンター)  
FAX：0551-46-2273 (河野)